

通算才18号

1964~65-10=7

函館北ロータリークラブ

第16回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

に市販される様になつたのは明治40年頃で、浅野吉次郎のロータリーレースの発明による。大正11年南方からラワン材が輸入され、合板の原料として最適であるので大量に作られる様になり、又、昭和10年頃接着剤として大豆グルーが発明されるに及んで、合板の生産が急増し、目ざましい普及をとげた。

然し当時は、大豆グルーは耐水性に乏しく剥がれ易いため、「ベニヤ板は合わせ板」と言われ、安物の代名詞とされた。(現在業者間ではベニヤ板と言う言葉はタブーで、合板と呼ぶ。)

戦時中の空白期を経て、昭和25年ラワン材の輸入再開、更に合成樹脂系接着剤の発明により、安物のベニヤ板から完全に脱皮し、合板業界は空前の発展をみた。

38年度の統計によれば、日本の合板総生産量は約51500万 m^2 で、アメリカに次ぎ世界才2位で、その約20%、約240億円が輸出されている。又生産板だけでなく、二次加工即ち塗装をしたり、模様紙を貼つたり、完全防水合板や防火合板も作られています。然し最近ラワン材の生産地であるフィリッピン、台湾、朝鮮、沖縄等で合板が作られる様になり、又アメリカが、日本の合板が内装用、装飾用であるのに目を付け、外装用の合板で日本に市場開拓を目論んで来ており、日本の合板業界が行詰まるのではないかとされます。

我々業界としてもまだまだ研究の余地があるのですが、それだけ将来性もあるのだとも言えます。

※出席率 (前回分)

会員数30名 出席19名 他ク出席6名 計25名 (83.3%)

※次回の卓話予定者

大田秀雄君 青柳喜一君 山内一雄君

次回例会日 10月14日

少し時間が残りましたので、新会長さんより熊の出る山を歩いた冒険談?があり、一同大いに笑わせられました。今回のお話と言い、又前のアツセンブリーに於ける、特急列車を乗り違えた自慢話と言い、会長さんのスピーチの妙、一同感服致しました。

※ 司 会 新 会 長

※ 斉 唱 "君が代" "手に手つないで"

※ ビジター 菊地忠義君 (森R.C.)

大総一郎君 他12名 (函館R.C.)

小山欽司君 他7名 (函館東R.C.)

※ 会長挨拶

1. 新潟市長より、当クラブで差上げた地震見舞金の礼状が参りました。
2. エバンストンのR.I.本部から始めてクリップシートが送られて来ました。これはやがて認証状が来るであろうと解して良いと思います。職業奉仕に関して記載があり、飯田(神)委員にお渡しする。初代職業奉仕委員長として良き基礎を作つて下さる様希望します。又R.I.ニュースも来ております。

※ スピーチ

山内一雄君

木造船を作るのが私の仕事ですが、いつの時も作る毎に難かしいものだとつくづく考えます。設計、船主の要望、海運局水産庁の幾度もの検査、現図、施行、塗装、艀装、進水等々です。然し最近では資材難で、鋼船にとつて代られ、木造船の設計も遠くなりけりの感があります。私共は今迄使用した分をこれから植林として国土に返済する気構えであり、それを使命と考えています。

ある造船の権威者が「私共の仕事は戦争になれば儲かる」と言つたそうですが、私共は戦争を望む造船屋には絶対になりたくありません。

応仁天皇の頃「伊豆の国の某に命じて長さ100尺の船を作らせ給い枯野と名付けられ」とあり、これが船名の嚆矢で、又780年位前の古文書に板東丸と言ふ船の事が書かれています。船名に「丸」をつけるについて三つの説があり、

- (1) 昔の人は自分の可愛い子供に丸をつけ、磨から転じた。
- (2) 自分の楽器や武器に丸をつけた様に小舟にも丸をつけた。
- (3) 船を城の一郭に例えて使われた。例えば本丸、二の丸の様に。昔の御朱

通算オ19号

1964~65-10-14

函館北ロータリークラブ

第17回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

印船は現在の500吨位で、当時としては城の様に立派であつたと思われ、城に見立てたとの説もなづけます。

今年の海の記念日に運輸省から発表された日本の保有船腹量は39年度中には1千万総吨に達し、戦前より400万総吨上廻るが、世界の総船腹量からみると、戦前はその10%で世界オ3位であつたのが、現在は7%でオ5位に止まり、まだ戦前の地位まで回復していないとのことでした。又現在日本で一番大きい船は出光興産のオイルタンカー日童丸で、総吨数75000吨、130.000吨の油を積みます。

「トン」は15世紀の初に英国で課税の基準として酒樽の積数より用いたのが源で、空樽を船に積む時に一つ二つと樽を叩くと「タン。タン。」と響くのでこの「タン」が訛つて「トン」になつたとのこと。1英トンは2,240ポンド(ロングトン、約270貫)、米トンは2000ポンド(ショートトン、約242貫)、メートル法では1000kgです。船舶のトン数では容積の積量である総吨数と、重量である排水屯とがあります。アルキメデスの原理は「浮没した物体の重量はその排除した水の量に等しい。」と教えており、排水量は即ち船舶の重量そのものです。一般船舶の吨数は、1854年にムアソン式測度法が案出され、これはシンプソン規則を応用して船の内容積を測定するもので、英国ではこれを採用し1000立方呎を1屯とすることに決定し、メートル法採用国では2.83立方米を1屯として屯数算定をし、現在世界各国は殆んどこのムアソン法式を採用しております。

毎年7月20日を海の記念日として種々の行事がありますが、その由来は明治9年明治天皇が東北御巡幸の折当函館にお立寄りになり、当時の灯台視察船明治丸に御乗船になり函館を御出港、無事横浜に御到着なされたのが7月20日であつたとの事です。函館と浅からぬ縁の記念日であり、この函館港の発展を祈る気持の切なるものがあります。

※ 出席率(前回分)

会員数30名 出席22名 他出席3名 計25名(83.3%)

※ 次回の卓話予定者 青柳喜一君 神原金一君

次回例会日 10月21日

※ 司会 新 会長

※ 斉唱 "手に手つないで"

※ ビジター 倉茂平八郎君 他10名(函館R.C.)

国田芳郎君 他7名(函館東R.C.)

※ 会長挨拶

R.I.本部事務総長より1965年度の"アジア地区R.I.理事候補者の推せん、およびこれに関する規程がきたので朗読します。

※ 幹事報告

1. インターシティ・ゼネラルフォラムの案内について、11月15日登別ランドホテルにおいて、登録料2,500円、宿泊料3,000円。内容から考えて、社会奉仕委員会、職業奉仕委員会、国際奉仕委員会の夫々の長又は所属委員及び会員多数の出席をお願いします。10月20日までに申込むこと。
2. R.I.本部より1961年次国際大会(東京)の報告書、他ロータリーソング等がきているので回覧します。
3. ロータリー用の自動車用シール等見本が多数来ているので必要な方は申し込み下さい。

※ ニコニコ箱

1. 水上、成田両会員のお誕生日を御祝い申し上げます。
2. 北海道法人会連合会功労者、函館法人会創設功労者の函館代表者として、北村会員が表彰されました。お祝い申し上げます。
3. 森会員の本郷組が四倍に増資されました。御発展をお祈りします。
4. 明日午後5時より麻雀大会を大分軒で開催します。会費千円、多数ご参加下さい。

※ スピーチ "学校薬剤師と学校保健法について" 青柳喜一君
学校教育の基本法の目的に"人格の完成をめざし、平和国家及び社会の形成